

BCAO 関西支部 平成 29 年 7 月度 (第 122 回) 勉強会議事録

日時： 7 月 19 日 (水) 19:05~20:30

場所： 株式会社ユー・エス・ジェイ 会議室

出席者：伊藤(高)、徳永、梅田、大館、飯田、鷺山、徳山、中村(和)、別役、松尾

ファシリテーター：野原(記)

1. 勉強会テーマ：

「BCP お悩み相談会 推進体制、策定方法、訓練等における悩み、問題点の深掘り」

2. 概要：

昨年のアンケートにおいても関西支部会員から「BCP の知識を深める、課題を解決したいという思いはあるが、関西地域勉強会のワーキンググループに参加しようとしても、セミプロばかりで参加しづらい。敷居が高い。壁がある。」といった意見がありました。今年度も会員メンバーが自分の思いを討議しあう場として「BCP お悩み相談会」を開催します。

2016 年 5 月勉強会での議論、及び 2017 年 1 月実施のアンケートに記載のあった BCAA 関西会員の BCP に関する悩みについて、今回、新しく BCAA 関西勉強会に入会されたメンバー、経験者の方々と共同で問題点の解決に向け深掘りをしていきます。

テーマに関しては、昨年の強会、1 月のアンケートに関連した、内容であれば結構です。特に BCP の初心者、経験者にどんどん悩み、疑問、質問等をぶつけてください。経験者の方々は、自分の過去を振り返り、同じ悩みを持ったメンバーへアドバイスをお願いします。

3. 討議内容

- (1) 進め方について説明
- (2) 各グループでの自己紹介
- (3) BCP 策定、維持管理に関する悩み、問題点のグループ・ディスカッション
- (4) 各グループでのディスカッション内容の報告・共有

①松尾さんチーム

パナソニックにおける BCP の課題について

パナソニックインフォメーションシステムはパナソニックにおける IT 業全般を扱っている。主な BCP の課題は BCP のスコープをいかに拡大していくかである。データセンター業をいかに継続していくことが課題になっている。IT 系の事業について 1 年半前に事業統合を行ったが、BCP も合わせ統合を進めている。

災害対策として大きく地震と、淀川氾濫を想定して対応を行っている。淀川氾濫はデータセンターが淀川そばにあるためである。ゲリラ豪雨等による浸水等、予測できるリスクに対してどう対応するかということについて議論した。

これから、課題を明確にして頂いた意見では、

地震と異なりこれらの災害は、予測できる活動であるためタイムラインを導入して対応を行っている。また、組織としての了見能力を上げる取組みを行っている。BCP の対応力を対応要員どうしていかに共有するか、気象情報の購入など、予測能力を上げるか等、未だ課題を整理できていないため今後、課題を明確にして、頂いたご意見を参考にしながら、課題に優先度をつけて取組みを行っていきたい。

②別役さんチーム

本部と各学校との権限委譲について。

学校の本部に所属し、本部をピラミッドとした 5 学校の BCP を作成中である。

本部と各学校との権限委譲について、本部の権限をいかに各学校に譲渡して BCP を進めるかということについて議論した。まずは本部としての方針を決め、あとは各学校である現場で判断すればよいのではというご意見を頂きました。まずは、本部で作成する BCP のフォーマットを決

め、各学校でフォーマットにしたがってBCPを記載してもらえばできるのではないかといったアドバイスをもらった。

今後の課題として、建屋の耐震化を行う必要がある。また、事業の継続するために建屋が駄目になったら、講義ビデオを録画し、ネットで事業風景を配信するといった手法もあるが、先生の既得権益があり、ビデオ配信による授業の仕組み作りは難しい。大学の中で、研究成果をどう守るかということも、BCPに含め作成していく事も重要ではないか等ご意見を頂いた。

(5) 全体ディスカッション (15分) 20:15~20:30

各グループから発表された内容について参加者、全員で問題点の深掘り

・本部と各学校との権限委譲について、権限委譲の相手先として本部以外のところ(学校)は名前が違うだけで機能は同じなのか。

→同じ。

→ビル管理の企業は、オーナー、テナント、ビル管理会社があり、その協力企業がある。

それぞれの会社がBCPを作るにしても、オーナーは「設備管理は設備管理会社がやってほしい」というが、設備管理の会社からすると「自社設備でないために勝手に発注できない」と状況となる。どこが主体でどこがサポートを行うのか、それぞれの思っていることが異なるので、役割を整理し、すみ分けを明らかにするステップを設けたほうがよい。

→最近、ビルを建てたが、同様に学校がありテナントがあるといった形態になっており、何かがあった時は、防災管理者が全てを決めて、費用が発生した場合は面積比で金額を均等割りする様、賃貸借契約で決めている。現時点では、オーナー、テナント、ビル管理会社の役割分担はできていると思った。各組織のすり合わせは決められたフォーマットを一つ決め、その中ですり合わせを行うとスムーズになると感じた。

・2チームとも具体的な話ができてよかった。どんなに素晴らしいマニュアル、プランがあったとしてもマインドセットができていないと十分に動けない。いざという時に、ホワイトアウトしないように、BCP策定の中でどこまで考えられているのか疑問に思う。自然災害等、いろんな事態に、即座に対応できる対応力をどのように保っているのかすごいなあと思いました。

・部門の末端のBCPを担当しているが、会社全体で一つのひな型を作って進めているが、具体的なところは事業部門任せになっている。やり方として疑問が残る。今日話を聞いて、自社は他社と比較して、それなりのことはやっていると思ったが、あまりお金はかけていないと感じた。データセンター事業については前提として耐震化はできている。今は、連絡ルート、人の動きを明確にしている。

以上